



越谷市議会議員

福田あきら

活動報告レポート『GET GOAL!』 2020年新春号 No. 35

〒343-0046 越谷市弥栄町4-1-120
TEL/ FAX 048-978-3335
Mali info@akira-fukuda.com HP http://akira-fukuda.com



※本活動報告レポートは、福田あきら自身が構成(文書/デザイン)をすべて担当しており、最小限の費用にて作成しています。(IT企業出身である強みを活かしています)

防災士
社会福祉士

市民を守る！「公共交通の確保と治水対策の強化」

12月定例議会 一般質問より

【福田質問】 越谷市は、公共交通不便地域(主に市街化調整区域)解消のための取り組みを進めている。その方向性は正しいので、前倒しで進めてほしい。その一方で市街化区域でも、公共交通の確保が求められている。その一つに、現在休止している「せんげん台駅東口～市立病院行き」のバス路線の再開がある。その路線再開のために一時的な補助金や期間限定の補助金を導入する考えは？

(私がこのバス路線再開にこだわっている理由は次の点である。①市民から再開について多くの要望があること。②市立病院という市民の生命に直結する路線であること。③採算ラインとかけ離れた乗車率でないこと(ある程度の採算が見込めること)である。)

【市長答弁】 当該バス路線の再開にむけた支援のための一時金としての補助もしくは期間限定の補助金を交付することは、財政負担のほか、市内を運行するバス路線の収支状況等を把握したうえで補助対象とするバス路線の条件を整備する必要があるため、引き続き他自治体が実施しているバス路線運航補助金等の施策について調査研究を行っていきたい。

せんげん台駅東口～市立病院行き バス路線の再開を考える



【福田再質問】 「せんげん台駅東口～市立病院行き」のバス路線が再開するためには、やはり乗客が増えていくことが重要であるが、しかし現状のように終点が市立病院では、乗客を増やすことは難しいと考える。既存のバス路線の顧客を奪わない形で、終点を変更する(路線を延長する)など、行政は色々な案をもって業者と調整をすることが必要だと考えるが、市長の考えは？

【市長再答弁】 バス会社は経営面で色々和努力していただいていると認識している。そのような中、全体的な収支のバランスを見ながら、市内の細かいところまでバスを走らせていただければ大変ありがたい。各バス会社の経営については、バス路線の保有数など含め、それぞれの事情がある。その中でどれだけ具体的な議論ができるかが重要であり、その結果によっては、全体的な採算の中で若干の助成をすることは考えられるが、現状では市と業者でそこまで具体的な話はできていない。またバスの運転手の確保が大変難しい状況であると言われている。この確保の支援も大きな課題である。業者と地域の思いをリンクさせていくことが重要だが、すこし時間がかかると思われる。



民生常任委員会/会派による行政調査より

👉 **更に詳しく！ブログをチェック**

2019年10月23日～25日にて民生常任委員会で行政調査を実施①②③、そして11月5日～7日にて会派「立憲・市民ネット」で行政調査を実施④⑤⑥しました。詳細レポートはブログをぜひご確認ください。



(質問する私)

<民生常任委員会>

- ①奈良県天理市(10月23日) 認知症予防「成果連動型支払事業」について
- ②兵庫県尼崎市(10月24日) ヘルスアップ尼崎戦略事業について
- ③愛知県豊橋市(10月25日) ドローン飛行隊の取組について

<会派:立憲・市民ネット>

- ④広島県呉市(11月5日) おいしい減塩食で健康生活推進事業について 医療費適正化の取組について
- ⑤兵庫県神戸市(11月6日) 認知症対策について
- ⑥京都府京都市(11月7日) 空き家対策について

令和2年度(2020年度)予算要望書提出

市民の皆様から頂いたご意見などを越谷市が行う事業に反映させるため、会派として55項目の予算要望書を高橋市長に提出しました。2019年10月17日提出(主要要望を下記に記載)

- ・医療、保健、介護、保育などの人材確保に努めること。
- ・超高齢社会に対応したごみの収集方法について調査研究を行うこと。
- ・治水対策の強化を実施すること。
- ・大規模災害対応強化および地域防災力の強化を図ること。
- ・自治会活動への積極的な支援と自治会加入率向上に努めること。
- ・LGBT(性的マイノリティ)に対する理解を深め、あらゆる市民に対して多様性を認める教育・生涯学習を進めること。



福田あきら(44歳)プロフィール

【所属会派】立憲・市民ネット 【常任委員会】民生常任委員会 【その他】東埼玉資源環境組合議会議員

1975年越谷市に生まれる(昭和50年5月28日生まれ)
1982年清浄院幼稚園卒園
1988年越谷市立桜井南小学校卒業
1991年越谷市立越谷北中学校卒業
1994年埼玉県立越谷北高等学校理数科卒業
1998年法政大学法学部法律学科卒業
2000年現:伊藤忠テクノソリューションズ㈱入社
→IT企業のサラリーマンとして10年勤務
2011年越谷市議会選挙初当選
2015年2期目当選 2019年3期目当選

- 資格 社会福祉士/防災士/情報セキュリティマネジメント 宅地建物取引士/終活カウンセラー(上級)など
- 家族 妻と長男、次男、チワワ2匹
- サッカー選手としての経歴
 - ・越谷フットボールクラブ(小学校1年～6年/社会人)
 - ・水戸ホーリーホック【現Jリーグ2部】
 - ・国民体育大会(国体)サッカーや全国社会人サッカー選手権優勝など三度の日本一を経験
- ・越谷市サッカー協会副会長
- ・越谷市スポーツ少年団本部長



日々情報
発信中

公式ホームページ
越谷市議会議員
福田あきら



ブログ
福田あきらの
政治家日記



★電話による市民相談窓口 048-978-3335

基本:平日10:00～18:00大変恐縮ですが、番号通知(表示)がある方へのみの対応となります。もし留守電の場合は要件を録音願います。確認後、折り返し連絡させていただきます。

台風15、19号から考える治水政策強化について

ホームページの負荷対応について

【福田質問】 災害が多発する中、情報発信の根幹のシステムであるホームページが閲覧できなくなるとい状況は、絶対に避けなければならないが、アクセス集中時に備えてどのような対策を講じているのか？

【市長答弁】 ホームページへのアクセスが集中した場合の閲覧障がい回避するための仕組みとして、負荷分散(コンテンツデリバリーネットワーク)の機能と災害時専用のトップページに切りかえる機能をあわせて導入した。台風19号の影響が最も大きかった10月12日における市公式ホームページのアクセス数は約71万9,000件で、これは前年同月の1日平均アクセス数約4万2,000件の約17倍となったが、運用委託業者からは負荷分散機能はまだ余力を残している状態であったと報告を受けており、市公式ホームページの閲覧に支障は出ていなかったと認識している。



防災行政無線が聞こえない時の対応「電話応答システム」の早期導入を！

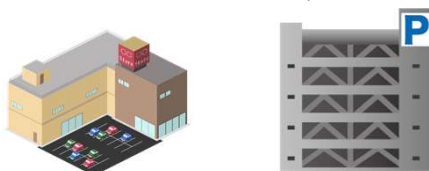
台風19号の際、豪雨の影響で防災行政無線が聞こえなかったという声を数多く聞きました。越谷市ではホームページやcityメールなど、複数の手段で防災行政無線と同様の情報を発信していますが、やはりスマートフォンやPCなどの情報機器の利用が苦手な高齢者の方からこのような声が多くあります。主にこうしたスマートフォンやPCを使いなれていない世代の方への対応として、現在越谷市ではデジタル防災行政無線システムの導入を進めており、その中には**防災行政無線の内容を電話で確認することができるサービス、電話応答システム**があります。**現在令和3年4月の開設が予定されています。この度の議会では、この電話応答システムを先行して導入するように提案しました。**



車の移動場所の確保について

【福田質問】 台風19号においてイオンレイクタウンの駐車場開放の取り組みは、大変画期的なものだった。地域に注目すると建物の2階部分に駐車場を持つスーパーや立体駐車場を持つスーパーなどが複数見受けられる。イオンリテールやイオンモールと交わしたような大々的な協定ではなく、車の避難における協力だけでもよいので、市内の業者と協定を結び、水害の危険がある際に車の移動場所を確保していただきたいと思います。市長の考えは？また自治会などが個別にスーパーなどの業者と協定を結びたいと考えた場合に協定書の雛形提供や注意点をアドバイスする考えは？

【市長答弁】 台風19号の対応については、イオンレイクタウンに緊急時における防災活動協力に関する協定に基づき、協力事項の一つである水害時における住民等の一時車両避難場所としての駐車場の開放を実施いただいた。台風が接近する前の10月12日午後3時に駐車場を開放し、翌日13日午前7時に閉鎖するまで、市内外の約500台の車両を受け入れたと伺っている。なお、今回駐車場の開放を初めて実施したことから、市とイオン側で今後の協定運用について意見交換を行ったところ、幾つかの課題を認識した。まず協定では、安全上の懸念から車両のみの一時避難場所であって、原則車中泊を認めていないが、今回駐車場を開放する前にJR武蔵野線が既に運休していたことから一部の所有者が帰宅できず、車中泊をした方がいた。また、イオンレイクタウンも臨時休業している中での駐車場の開放であったため、避難者から店内のトイレを使用したいとの要望もあり、施設管理上の支障が生じたとも伺っている。そのほか台風の強風により飛散物等が避難車両を傷つけた場合の責任の所在など、今後の協定運用に当たっては駐車場開放の案内とあわせて利用者へ車両避難に関する注意事項の周知が必要と考えている。今後も民間駐車場の開放は、住民の不安緩和と財産保護に一定の効果があることから、今回の課題を踏まえつつ、その他の民間事業者との連携にも努めていく。また個別に地域や自治体から、協定について雛形の提供やアドバイスが求められた場合は、しっかりと相談にのりながら対応していきたい。



堤防及び土手の決壊を防げ！

台風19号による堤防からの水のしみ出しがあった場所とその対策について質問したところ、元荒川では北越谷5丁目地内の北越谷第五公園付近及び大成町1丁目地内の大成川排水機場付近、新方川では船渡地内の間久里新田橋下流の右岸付近において、職員の現地パトロールや市民からの数件の連絡をいただき、状況を確認したとのこと。そして、市では水のしみ出しが見られた箇所について県と情報を共有するとともに、堤内地への水のしみ出しを防ぐための土のうの設置や重点的なパトロールを継続し、安全の確保に努めていることを確認しました。



※その他の質問、避難所の開設について、利根川が決壊した場合の想定について、バックウォーター現象については、次号の活動レポートにて報告させていただきます。

越谷市の借入金残高は平成30年度で再び減少に転じる！(9月決算特別委員会より)

借入金(地方債残高)推移表

【単位:億円】

項目	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
一般会計(通常債)	372.7	335.3	324.3	314.4	307.4	297.0	281.3	265.5	279.7	260.9
一般会計(特例債)	312.9	336.3	352.3	367.4	380.0	393.4	410.2	421.3	430.9	441.7
特別会計	578.6	561.7	543.7	521.1	495.8	476.2	462.8	446.6	427.1	402.0
病院事業	48.5	46.2	43.8	41.3	38.8	36.1	33.4	30.7	27.8	24.8
市債合計	1,312.7	1,279.5	1,264.0	1,244.2	1,222.0	1,202.8	1,187.8	1,164.2	1,165.5	1,129.4
市債前年度比較	▲ 42.2	▲ 33.2	▲ 15.5	▲ 19.8	▲ 22.2	▲ 19.2	▲ 15.0	▲ 23.6	▲ 1.3	▲ 36.0

越谷市は、今までは①一般会計、②特別会計、③病院事業会計の3つ合計での借入金残高は毎年減少させるという運用を貫いてきましたが、平成29年度は、小中学校へのエアコン設置で多くの借入をしたことにより借入金残高が約1.3億円増加しました。**しかし平成30年度は、約36億の市債の減少となりました。ここ数年の傾向からするとこの減少値は大幅な数値であり、前年度のプラス分を取り返すのに値する数字であると言えます。越谷市の財政規律が守られていると判断できます。**

